

地域公共スポーツ施設の利用者の年齢及び利用目的  
野村 和貴 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)  
指導教員 新井 博

キーワード：地域スポーツ スポーツ活動 スポーツ活動の位置づけ

### 1. 緒言

地域スポーツ活動及び活動者に対し疑問が生まれ今回の研究課題を選択した。本研究により、自身の住んでいる地域住民のスポーツの位置づけが確認できる。今回得た知識が今後のスポーツ指導に生かされると考えている。

### 2. 研究方法

対象は地域公共スポーツ施設利用者と現在所属しているバスケットボールのチームメイトとする。調査目的は施設利用者や利用経験者のスポーツ活動についてである。アンケート内容は全18問の選択式である。

### 3. 結果と考察

(1) スポーツ経験者(全員)の結果から若い世代ほど利用回数と利用料金は低く、利用時間帯は夕方や夜間の利用が多い結果となった。年齢が高い世代は昼間や朝の時間帯に利用が多く利用回数も多いことがわかる。利用する際には複数の人と一緒に利用する結果となった。若い世代はリフレッシュ感覚でスポーツ活動を行い、中高齢者は時間を指定して利用している場合が多かった。

改善点としては、施設や設備に関する意見が多く、市民の要求に対して対応できているとは言えない結果であった。

(2) スポーツ経験者のみの結果から

経験者の多くが球技や団体スポーツを経験している。体験するや知る機会が多いスポーツほど経験者は増える。

継続年数は6年以上と高い結果が得られた。10代の間にスポーツ活動を行っているたかが、その後のスポーツ活動を行うと

考えられる。

理由としてパフォーマンスの向上を意識してスポーツ活動を行う人が多く見られた。また体のメンテナンスや健康目的、美容目的にスポーツ活動を行う人も多かった。

地域公共スポーツ施設の選択理由だが、利用料金が安い意見が最も多く見られた。これは、市行政の市民に対して安く利用してもらおう狙いが、合致していると言える結果になった。

(3) 非スポーツ経験者の結果から

成人及び社会人になってからスポーツを始めた人はいなかった。

### 4. まとめ

スポーツ経験や年齢との関係性が発見できた。本研究により、地域公共スポーツ利用の目的がわかり、利用者のスポーツの位置づけを得ることができた。高齢者や競技スポーツ者においては、スポーツ活動を優先的に考えており、スポーツ活動の位置づけが高いことが分かる。

また、スポーツ活動の位置づけは、年齢だけではなく利用目的にも大きく関係し、成人及び社会人になってからも、スポーツ活動を行っている人は、10代の内にスポーツ活動を行っていた事が、大きく影響している事が分かった。

### 引用・参考文献

地域に根付いたスポーツクラブ経営に関する一考察 近畿大学 経営学部 経営学科綿田ゼミ 2009年4年生 熊谷 理紗  
総合型地域スポーツクラブ会員のクラブに対する帰属意識に関する研究 平松